

リニアレン12

安全データシート

作成日: 1997/03/07
改訂日: 2024/12/03
整理番号: LINEALENE_12_JP07 (JP)_20241203

1. 化学品及び会社情報

製品名 : リニアレン12
化学品の名称 : 1-ドデセン

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 合成原料、重合原料
使用上の制限 : 工業用途のみとし、所定用途以外には使用しないこと。

会社情報

製造業者 出光興産株式会社
〒100-8321 東京都千代田区大手町一丁目2番1号
電話 0120-132-015
緊急連絡電話番号 : 0120-015-230 (NCEC)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|--------|--------|-----|
| 物理的危険性 | 引火性液体 | 区分4 |
| 健康有害性 | 誤えん有害性 | 区分1 |

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

危険有害性 (GHS JP) : 可燃性液体 (H227)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)
火災の場合:消火するために適切な消火器具を使用すること。(P370+P378)

保管 : 換気の良い場所で保管すること。(P403)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物、容器を国、都道府県、市町村の規則に従った場所に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質
化学名 : 1-ドデセン
IUPAC 名 : dodec-1-ene

リニアレン12

整理番号:LINEALENE_12_JP07(JP)_20241203

| 化学物質名 | 濃度 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|--------|---------|---------------------------------|----------|-------|----------|
| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| 1-ドデセン | ≥ 98.5* | C ₁₂ H ₂₄ | (2)-27 | 既存 | 112-41-4 |

*C₁₂H₂₄として

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 予防措置として水で眼を洗う。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状・損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

- 医師に対する特別な注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災時の特有の危険有害性 : 可燃性液体。
- 爆発の危険 : 引火性・爆発性蒸気-空気混合物を形成することがある。
- 火災時の反応性 : 熱分解により次のものを生成する:一酸化炭素、二酸化炭素(CO and CO2)
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 火災の場合:区域から退避させ、爆発の危険性があるため、離れた距離から消火すること。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 十分に換気すること。
処理作業の際には保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにすること。
風上から作業し、風下の人を退避させること。
安全なエリアに人員を避難させる。

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

リニアレン12

整理番号: LINEALENE_12_JP07 (JP)_20241203

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- 二次災害の防止策 : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
個人用保護具を着用する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 火の気のない場所で保管する。
他の物質から離して保管すること。
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 混触禁止物質 : 強力な酸化剤。
- 容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規に規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

1-ドデセン (CAS 112-41-4)

日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会): データなし

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
- 手の保護具 : 保護用手袋
- 眼及び/又は顔面の保護具 : 安全メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 外観 : 無色透明液体
- 分子量 : 168.32 g/mol
- 色 : 無色
- 臭い : 炭化水素臭
- pH : データなし
- 融点 : -35.2 °C

リニアレン12

整理番号: LINEALENE_12_JP07 (JP)_20241203

| | |
|------------------------|--|
| 凝固点 | : データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | : 215.8 °C |
| 引火点 | : 87 °C (クリーブランド開放式) |
| 自然発火点 | : 275 °C |
| 分解温度 | : データなし |
| 可燃性 | : 可燃性液体 |
| 蒸気圧 | : 3 Pa (20°C) |
| 相対蒸気密度 (20 °C) | : 5.8 |
| 密度 | : 0.758 g/cm ³ (@20 °C) |
| 相対ガス密度 | : 5.8 |
| 溶解度 | : 水に溶けない。水: 120 µg/l (@25 °C, ECHA data) |
| n-オクタノール/水分配係数 (log 値) | : 8 |
| 爆発限界 下限 (LEL) | : 0.6 vol % (Chemicalbook) |
| 爆発限界 上限 (UEL) | : 5.4 vol % (Chemicalbook) |
| 動粘性率 | : 1.72 mm ² /s (@20 °C, HSDB (2002)) |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 反応性 | : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しない。 |
| 化学的安定性 | : 通常の下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 強酸化剤、および酸と共に反応する。 |
| 避けるべき条件 | : 過熱。高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。 |
| 混触危険物質 | : 強酸。酸化剤。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。 |

11. 有害性情報

| | |
|-----------|--|
| 急性毒性 (経口) | : 区分に該当しない |
| 急性毒性 (経皮) | : 区分に該当しない |
| 急性毒性 (吸入) | : 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん (塵)、ミスト: データなし) |

| 1-ドデセン (CAS 112-41-4) | |
|-----------------------|------------------------------|
| LD50 経口 ラット | > 10000 mg/kg (SIDS(2000)) |
| LD50 経皮 ラット | > 10000 mg/kg (IUCLID(2000)) |

| | |
|------------------|---|
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 区分に該当しない腐食性・刺激性なし(ECHA data). |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 区分に該当しない ウサギを用いた試験で刺激性なし (not an eye irritant) との結果 (SIDS (2000)) に基づき、区分に該当しないとした。 |
| 呼吸器感作性 | : 呼吸器感作性なし (ECHA data) |
| 皮膚感作性 | : 皮膚感作性なし (ECHA data) |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない(データなし) in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro 試験として、エームス試験で陰性 (SIDS (2000))、ラット肝細胞を用いた染色体異常試験で陰性 (SIDS (2000)) の報告がある。 |
| 発がん性 | : 分類できない(データなし) |
| 生殖毒性 | : 分類できない(データなし) |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 分類できない(データなし) |

リニアレン12

整理番号: LINEALENE_12_JP07 (JP)_20241203

- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない(データ不十分)
誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
本物質は液体の炭化水素であり、動粘性率が 1.72 mm²/s (@20 °C, HSDB (2002)) であることから、区分 1 とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない。様々なデータがあるため、分類できない(ECHA data)
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない。様々なデータがあるため、分類できない(ECHA data)

残留性・分解性

| 1-ドデセン (CAS 112-41-4) | |
|-----------------------|----------------------------|
| 残留性・分解性 | 易生分解性。100%生分解性。(ECHA data) |

生体蓄積性: データなし。

| 1-ドデセン (CAS 112-41-4) | |
|------------------------|---|
| n-オクタノール/水分配係数 (log 値) | 8 |

土壌中の移動性: データなし。

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。
残余廃棄物 : 環境への放出を避けること。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

| 道路輸送 (UN RTDG) | 海上輸送 (IMDG) | 航空輸送 (IATA) |
|-------------------|----------------|----------------|
| 国連番号 | | |
| 非該当 | 規制されていない | 規制されていない |
| 国連正式品名 | | |
| 非該当 | 規制されていない | 規制されていない |
| 輸送危険物分類 | | |
| 非該当 | 規制されていない | 規制されていない |
| 容器等級 | | |
| 非該当 | 規制されていない | 規制されていない |
| 環境有害性 | | |
| 環境有害性 : 非該当 | 規制されていない | 規制されていない |

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

リニアレン12

整理番号: LINEALENE_12_JP07 (JP)_20241203

IBC コード製品名 : 1-Dodecene
IBC コード : 適用される
船種 : タイプ 2
汚染物質カテゴリー : Y

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき有害物 (法第57条、施行令第18条)
(1-ドデセン 96%) (令和7年4月1日以降)
名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2)
(1-ドデセン 96%) (令和7年4月1日以降)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体 (法第2条第7項危険物別表第1)

海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Y類物質) (施行令別表第1) 1-ドデセン

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 非該当

16. その他の情報

参考文献 : 非公開弊社保有試験結果、ECHA (欧州化学機関)、文献データ等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253(2019)に準拠する。この安全データシートに記載されている情報は、その発行日時点において、我々が知る限りにおいて、および信じるところにより正確であることを証明する。ここに記載する情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、運搬、廃棄、および放出を安全に実施することを目的としてのみ提供されており、保証または品質仕様を表しているものではない。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、何らかのプロセスで指定外に他の物質と共に使用した場合、その妥当性は排除される。